

15

景観計画重点区域6

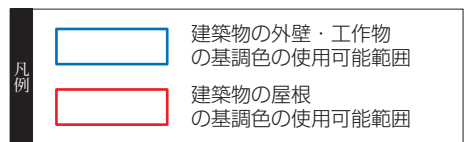
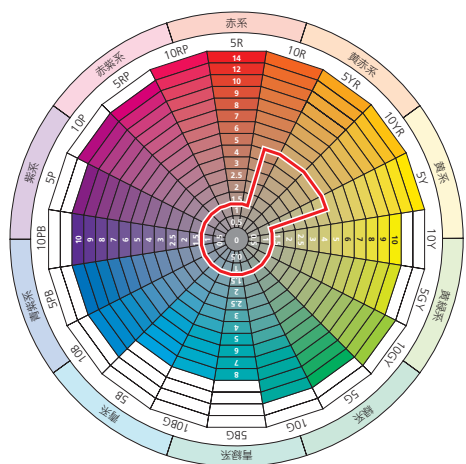
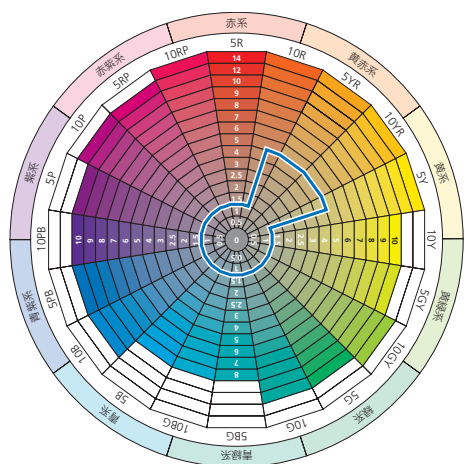
かまぼこ通り周辺地区の色彩

建築物の屋根・外壁、工作物の色彩

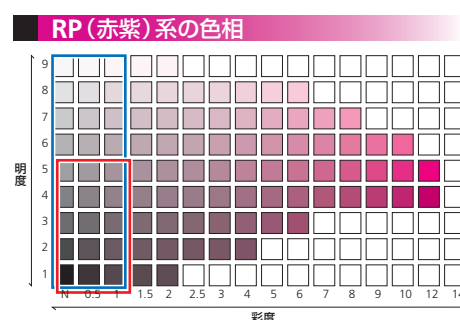
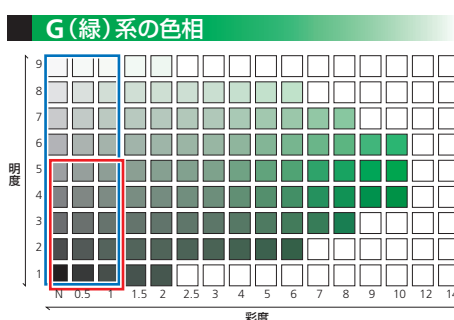
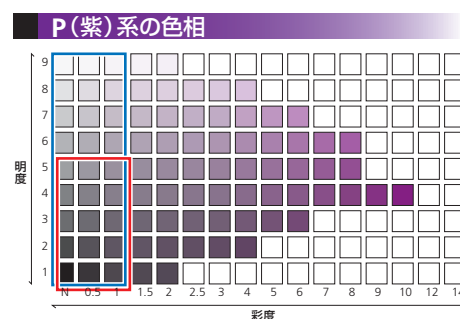
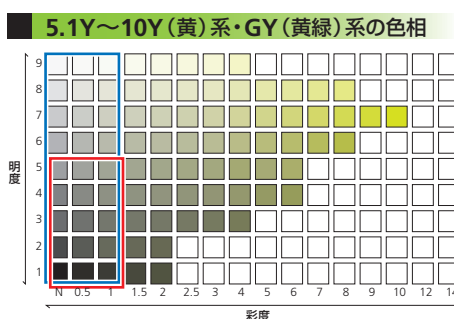
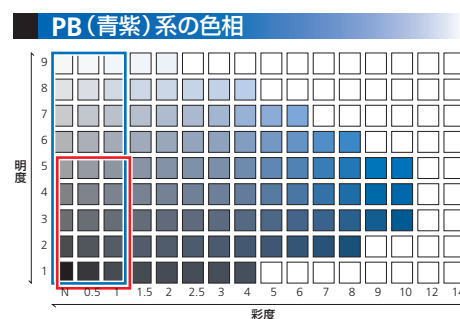
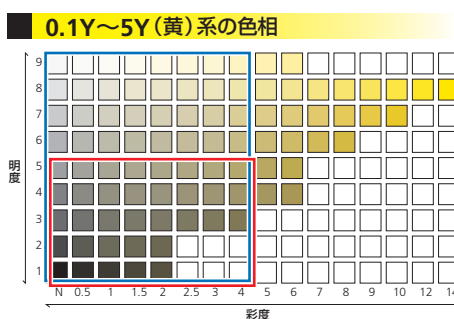
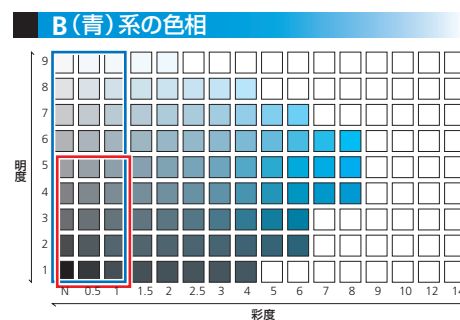
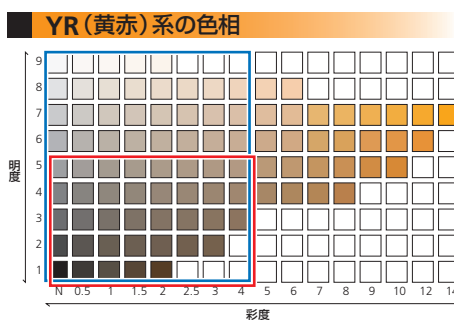
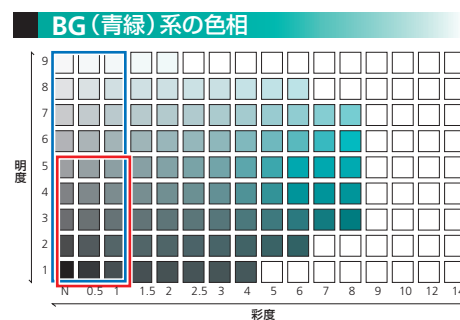
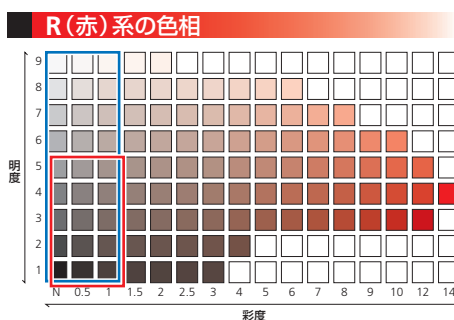
制限の考え方

建築物の外壁や工作物の色彩は、小田原宿やなりわいの文化や風情を今に伝える出桁造（だしげたづくり）の歴史的建造物をはじめ、本地区の水産加工店舗などに共通する和風の意匠を継承します。また、商業・業務施設が多いエリアでは低層部を中心ににぎわいを演出し、住宅が多いエリアでは落ち着いた色調とするなど、地区の特性に応じた色使いを基本とします。

*建築物・工作物の見付面積の1/5未満の範囲内で用いる色彩については制限がありません。



| 対象部位 | 色相 | 明度 | 彩度 |
|------------|----------|--------|--------|
| 建築物の外壁・工作物 | 0.1YR～5Y | 制限なし | 4以下とする |
| | その他 | 制限なし | 1以下とする |
| 建築物の屋根 | 0.1YR～5Y | 5以下とする | 4以下とする |
| | その他 | 5以下とする | 1以下とする |



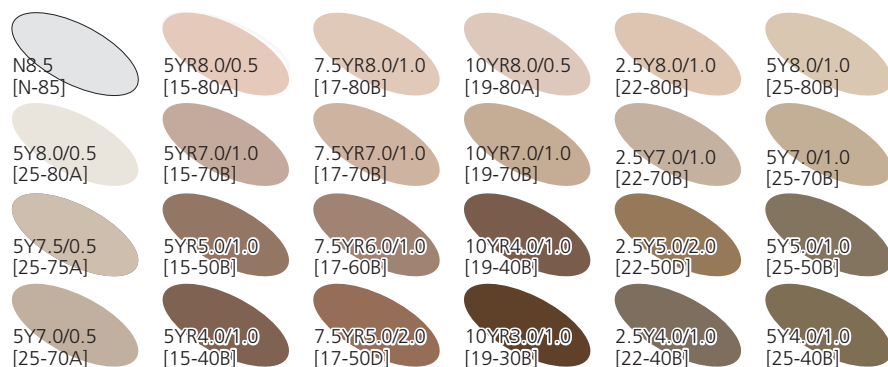
好ましい色彩例

地区内に残る歴史的建造物の風格ある色彩を継承し、木材やそれに類する色彩を用いたり、地区内に多く見られる暖色系色相の低彩度色を用いることで、通りとしての連続性や一体感を育むことができます。

店舗としての個性やにぎわいなどは、日よけ幕やのれんなど、歩行者の目線に近い、低い位置の小さな要素に用い、まちなみの調和とにぎわいのバランスを図ることも大切です。

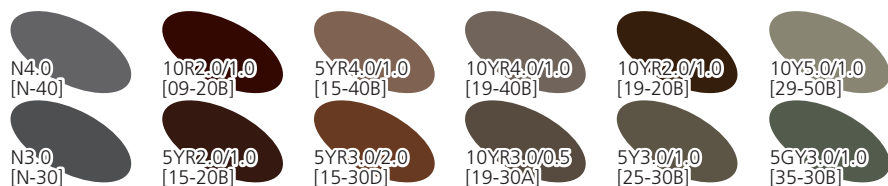
制限範囲内の色彩例—外壁

(記号はマンセル値、[]内は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。)



制限範囲内の色彩例—屋根

(記号はマンセル値、[]内は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。)



色彩景観の考え方

建築物等の外壁：現在のまちなみの基調となっているYR（黄赤）系、Y（黄）系の色相を基本とし、落ち着いた低彩度色でまとめます。

屋外広告物、日よけテント等：落ち着いたと風格のある穏やかな色調を用い、材料や表現を工夫します。

建築物等の屋根：風格ある沿道景観を形成するため、低彩度かつ低明度色でまとめます。

縁台の緋毛氈など：和風の色彩を用い、くつろぎの場を提供します。（色彩の制限対象外）

自動販売機：指定色（5Y7.5/1.5）で統一します。

屋外広告物・日よけテントの色彩

制限・誘導の考え方

小田原宿やなりわいの文化を今に伝える景観と調和した色彩景観を形成するため、屋外広告物の地色^{*1}及び日よけテントは、華やかさの中にも風格を感じさせる深みのある色調を用いるよう誘導を図ります。

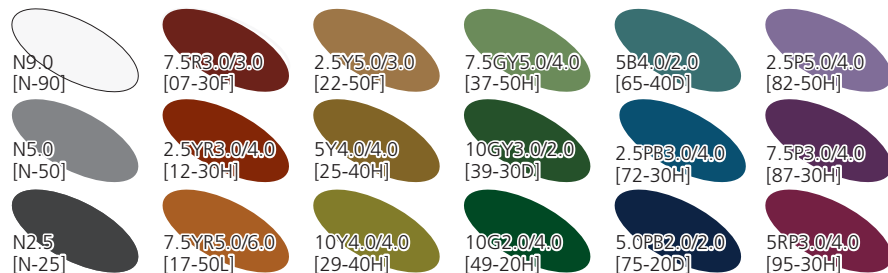
^{*1} 文字以外の部分をさします。その面積の1/3以内の範囲内で用いる色彩には制限がありません。

| 対象部位 | 色相 | 明度 | 彩度 |
|--------------------|-------------------------|------|--------|
| 屋外広告物の地色 日よけテント | 0.1R～10R | 制限なし | 5以下とする |
| | 0.1YR～5Y | 制限なし | 6以下とする |
| | 5.1Y～10G、 0.1PB～10RP | 制限なし | 4以下とする |
| | 0.1BG～10B | 制限なし | 3以下とする |

※和風の意匠によるのれん、日よけ幕については、1色に限り上記範囲外の色彩を用いることができます。

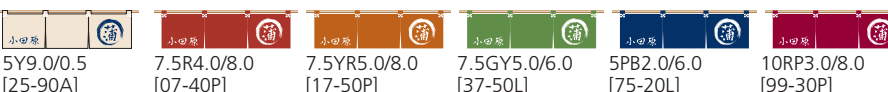
制限範囲内の色彩例—屋外広告物等の地色

(記号はマンセル値、[]内は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。)

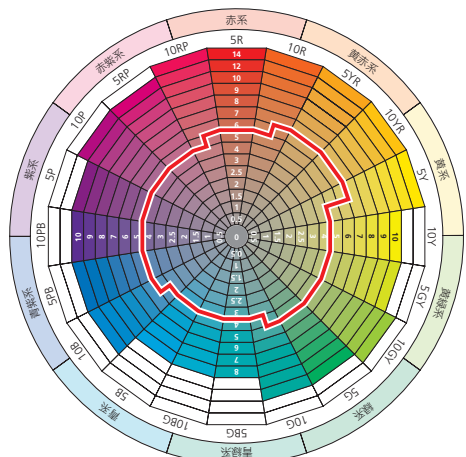


和風ののれん、日よけ幕の地色の例

(記号はマンセル値、[]内は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。)



※和風の意匠によるのれん、日よけ幕の特例を使った色彩が含まれています。



好ましい色彩例

宿場町やなりわいの文化や風情が残る落ち着いた雰囲気を受け継ぐため、古くから見られる木造住宅の色彩や、地区内に多く見られる暖色系色相の低彩度色を用いることで、この地に暮らす人々が落ち着きや心地よさを感じる景観を育むことができます。建築物の色彩ばかりでなく、塀などの工作物の色彩にも配慮し、庭木やプランターなどの緑から、自然や季節の息吹が感じられる景観としていくことも大切です。

制限範囲内の色彩例—外壁

(記号はマンセル値、[]内は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。)

| | | | | | |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|
| 5YR8.0/1.0 [15-80B] | 7.5YR8.0/1.0 [17-80B] | 10YR8.5/0.5 [19-85A] | 10YR7.0/2.0 [19-70D] | 2.5Y9.0/1.0 [22-90B] | 5Y8.5/0.5 [25-85A] |
| 5YR7.0/1.0 [15-70B] | 7.5YR7.0/1.5 [17-70C] | 10YR8.5/1.0 [19-85B] | 10YR6.5/1.5 [19-65C] | 2.5Y8.0/1.0 [22-80B] | 5Y8.0/1.0 [25-80B] |
| 5YR6.0/2.0 [15-60D] | 7.5YR6.0/2.0 [17-60D] | 10YR8.0/1.5 [19-80C] | 10YR6.0/2.0 [19-60D] | 2.5Y7.5/2.0 [22-75D] | 5Y7.0/1.5 [25-70C] |
| 5YR5.0/2.0 [15-50D] | 7.5YR5.0/2.0 [17-50D] | 10YR7.5/2.0 [19-75D] | 10YR5.0/1.0 [19-50B] | 2.5Y7.0/2.0 [22-70D] | 5Y5.0/1.0 [25-50B] |

制限範囲内の色彩例—屋根

(記号はマンセル値、[]内は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。)

| | | | | | |
|----------------|------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|
| N4.0 [N-40] | 5YR3.0/3.0 [15-30F] | 7.5YR3.0/3.0 [17-30F] | 10YR4.0/1.0 [19-40B] | 2.5Y4.0/1.0 [22-40B] | 5GY3.0/1.0 [35-30B] |
| N2.0 [N-20] | 5YR4.0/1.0 [15-40B] | 5YR2.0/1.0 [15-20B] | 10YR3.0/2.0 [19-30D] | 5Y3.0/1.0 [25-30B] | 5BG3.0/1.0 [55-30B] |

色彩景観の考え方

建築物等の外壁：現在のまちなみの基調となっているYR（黄赤）系、Y（黄）系の色相を基本とし、落ち着いた低彩度色でまとめます。

建築物等の屋根：宿場町の風情を感じさせる落ち着いた景観を形成するため、低彩度かつ低明度色でまとめます。

新しい住宅：周辺にあわせて落ち着いた色彩・デザインとします。



自動販売機の色

制限の考え方

自動販売機等は、周辺景観との調和を考慮し、建築物等と一体的になるよう計画します。自動販売機を屋外に設置する場合は、外装色を5Y7.5/1.5とします。

自動販売機の指定色とイメージ



*ただし、木製の囲い等により周囲と調和するように修景を行った場合はこの限りではありません。

屋外広告物の色彩デザイン提案…なりわいと歴史を重ねた風格のある広告景観をめざして



× 原案

地色に高彩度色を用いており、配色を反転させた場合も地色の明度が高く、和の表情をもつ、かまぼこ通りの景観からは突出して見えます。和の食材であるかまぼこのイメージに合わせ、屋外広告物も和風の色彩やデザインを基調とし、特徴ある地域のイメージを育みましょう。



◎ 中彩度色を活かした表現

原色ではなく中彩度色を用いると草木染めや藍染めなど伝統的な色彩表現と共通性が生まれます。



◎ 素材色を活かした表現

木材などの自然素材を活かすと宿場町の風情を感じさせる歴史的な表現ができます。



◎ 箱文字表現

盤面を設けるのではなく、外壁に直接文字を設置すると建物の外観に違和感なく調和します。



◎ 切文字表現

金属板などを切り抜いて文字等を表現すると、和風でありつつもモダンな印象になります。



× 原案

光沢の強いプラスチックやビニル素材等は人工的な印象が強く和風のまちなみになじみません。



◎ 布を活かした表現

布製の日よけ幕やバナーフラッグなどを用いると柔らかく可変性のある表現ができます。



◎ 木材を活かした表現

木材を活かすことで、自然で風格のある表現とすることができます。

代表的な建築物等の色彩

かまぼこ通り周辺地区の景観を印象づけている色彩要素の例です。



景観計画等の方針や制限などに使われている色彩の尺度（JIS Z8721 色の表示方法—三属性による表示）

マンセル表色系

景観計画等では、色彩を正確かつ客観的に表すために、マンセル表色系を採用しています。マンセル表色系は、JISにも採用され多くの国々で用いられている、色彩のものさしともいえる尺度で、ひとつの色彩を「色相（いろあい）」「明度（あかるさ）」「彩度（あざやかさ）」という3つの属性の組み合わせによって表現します。これによって、赤や青、黄色などといった色名による表現よりも個人差のない正確な色彩を表現することができます。

色相（いろあい）

色相は、いろあいを表します。10種の基本色（赤、黄赤、黄、黄緑、緑、青緑、青、青紫、紫、赤紫）の頭文字をとったアルファベット（R,YR,Y,GY,G,BG,B,PB,P,RP）とその度合いを示す0から10までの数字を組み合わせ、10Rや5Yなどのように表記します。

明度（あかるさ）

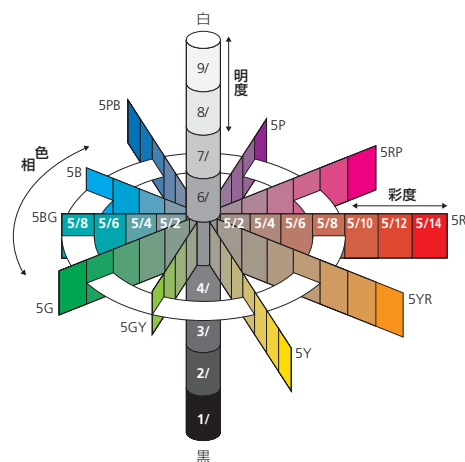
明度は、あかるさの度合いを0から10までの数値で表します。暗い色ほど数値が小さく、明るい色ほど数値が大きくなり10に近くなります。

彩度（あざやかさ）

彩度は、あざやかさの度合いを0から16程度までの数値で表します。色味のない鈍い色ほど数値が小さく、白、黒、グレーなどの無彩色の彩度は0になります。逆に鮮やかな色彩ほど数値が大きく赤の原色の彩度は16程度です。

マンセル記号

マンセル記号は、これら3つの属性を組み合わせ、ひとつの色彩を表記する記号です。有彩色は、10YR8.5/1.5のように、色相、明度/彩度を組み合わせて表記し、無彩色は、N4.0のようにニュートラルを表すNと明度を組み合わせて表記します。



マンセル表色系のしくみ



マンセル記号による色彩の表し方と読み方